

# 有害図書類の指定及び優良図書等の推奨に係る変更点について

令和 3 年 3 月 12 日

次世代・女性活躍支援課

## I 有害図書類

### 1. 有害図書類の指定方法

|                                  |                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個別指定<br>(条例第 9 条第 1 項)<br>S54.1～ | 次のいずれかに該当する図書類は、知事が青少年に有害な図書類として指定できるとしている。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 著しく青少年の性的感情を刺激し、その健全な育成を阻害するおそれのあるもの</li><li>・ 著しく青少年の粗暴性又は残虐性を誘発し、又は助長し、その健全な育成を阻害するおそれのあるもの</li><li>・ 著しく青少年の犯罪又は自殺を誘発し、又は助長し、その健全な育成を阻害するおそれのあるもの</li></ul>    |
| 包括指定<br>(条例第 9 条第 2 項)<br>H16.4～ | 次のいずれかに該当する図書類は、知事が青少年に有害な図書類として指定したものとみなすとしている。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 書籍等で性的感情を刺激する姿態等を被写体とした写真、描写した絵を掲載するページが、20 ページ以上のもの又は総ページ数の 5 分の 1 以上のもの。</li><li>・ 録画テープ等で性的感情を刺激する姿態等を描写した場面の時間が合わせて 3 分を超えるもの又は場面の数が 20 以上のもの。</li></ul> |
| 団体指定<br>(条例第 9 条第 3 項)<br>H19.4～ | 図書類の内容を審査する団体で知事が適当と認めるものが、条例第 9 条第 1 項のいずれかに該当するとして青少年の販売等を適当でないと認めたものは、知事が有害指定したものとみなす。                                                                                                                                                             |

- ・ 昭和 54 年 1 月から、図書を購入し個別指定を行うという方式をとっており、現在は年 3 回環境浄化部会を開催し、部会の開催ごとに有害図書の個別指定を行っている。
- ・ 個別指定をした図書については、県公報へ登載するとともに関係機関へ通知を行い周知を図っている。
- ・ 有害図書の個別指定の周知に合わせ、区分陳列等について定期的に周知啓発を行っている。

### 2. 巡回体制の現状

- ・ 環境浄化調査員が、図書類等を販売している調査対象施設約 900 か所について立入調査を行い、有害図書類が区分陳列されているかなどの確認を行っている。
- ・ 令和元年度調査実績は延べ 1,867 件、指導は 55 件である。指導内容については、全て区分陳列に関するものである。

### 3. 変更の理由

- ・個別指定を実施し始めた当初の有害図書は、販売期間を一定程度有し、個々に刊行される書籍が多かったが、現在販売されている図書類等は、月刊誌のように定期刊行される書籍が主流となっており、個別指定を行っても、その図書が販売され、相当の期間が経過してから指定の通知が行われるなど実効性に欠ける場合がある。

(令和2年度第2回環境浄化部会例：図書購入 10/27、審議会 11/13、告示 11/27)

- ・大手コンビニでは令和元年夏以降、成人雑誌コーナーを廃止しているほか、書店等では有害図書の区分陳列が進んでいる。
- ・県内の小・中学生ともに8割以上が携帯電話・通信機能付端末を、高校生についてはほぼ全員が携帯電話を所持しており、情報の入手先が多様化している。
- ・「秋田県青少年の健全育成と環境浄化に関する条例」に包括指定の基準が定められており、個別指定に代わる対応が可能となっている。

### 4. 変更内容について

|          | 現状                                                                    | 見直し後                                                                                                                                 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境浄化部会   | ・年3回定期的に開催している。<br>(7月、11月、3月)                                        | ・社会状況等を踏まえ、有害図書や有害玩具等の個別指定が必要になった場合には、随時開催する。                                                                                        |
| 有害図書類の指定 | ・環境浄化調査員と担当者が書店等を訪問し、陳列される図書類の中から、有害図書に該当するであろう図書を購入し、年3回開催する部会で審議する。 | ・定例的な個別指定は行わず包括指定により対応することとし、社会状況等を踏まえ、個別指定が必要となった場合は、随時委員の招集又は書面開催により審議を行う。<br>・事前に審議会の意見を聴く暇がなく緊急的に指定した場合は、年1回開催する審議会においてその旨を報告する。 |

### 5. 有害図書類に係る今後の取組について

#### ○配布物による周知啓発

関係事業者に対し、年度当初に包括指定や区分陳列の内容について、注意喚起文書と意識啓発用のチラシを送付する。現在の通知先に加え、コンビニやスーパーの本部など、有害図書の区分陳列等について協定を結んでいる企業に対して、通知を行う。

#### ○巡回時における働きかけの強化

環境浄化調査員は年間約900か所の関係機関へ立入調査を行っており、その調査時に区分陳列について重点的な確認を行い、チェックシート等を配布し、事業者の理解を促進するとともに周知啓発の強化を図る。

## Ⅱ 優良図書等

### 1. 優良図書等の推奨方法

|                       |                                                                                         |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 優良図書等の推奨<br>(条例第5条の2) | 青少年の健全な育成を図る上において有益であると認めるものを、「秋田県青少年の健全育成と環境浄化に関する条例に基づく推奨及び指定等に関する審査基準」により審査を行い、推奨する。 |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|

- ・推奨した図書については、県公報へ登載するとともに関係機関へ周知を行い周知を図っている。

### 2. 変更内容について

|       | 現状                             | 見直し後                                          |
|-------|--------------------------------|-----------------------------------------------|
| 優良図書等 | ・推薦申出書が提出された場合、年3回開催する部会で審議する。 | ・推薦申出書が提出された場合、年1回開催する審議会開催時にあわせて部会を開催し、審議する。 |

## Ⅲ 青少年健全育成に係る取組について

主に以下の取組において、青少年をとりまく環境の変化に対応していく。

### ○県警察本部の取組

| 事業名                | 内容                                                                                                                                      |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「なまはげ」少年サポート事業     | スマートフォンからSNS等を利用して子どもが被害に遭う事例が後を絶たないことから、子ども対象の情報モラル教室だけでなく、保護者を対象とした講話を開催する。また、関係機関・団体等と連携してフィルタリングの普及促進やインターネットの安全利用に関するキャンペーン等に取り組む。 |
| 子供・女性を犯罪から守る安全活動事業 | 非行少年が再び非行を犯さないようにするため、大学生少年サポーターによる学習支援やスポーツ交流を始め、少年保護育成委員等のボランティアと連携し、農業体験や料理体験等を通じた立ち直り支援活動を推進する。                                     |

### ○県教育庁生涯学習課の取組

| 事業名                   | 内容                                                                                 |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 大人が支える！インターネットセーフティ事業 | 社会全体で子どもたちをインターネットによる有害情報やトラブル等から守り、インターネットを健全に利用できるよう、ネットパトロール、啓発講座等を実施する。        |
| 学校・家庭・地域連携総合推進事業      | 地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を積極的に推進するため、協働活動、家庭教育支援チーム、放課後子ども教室等を実施する。 |
| “心を育てる”セカンドスクール推進事業   | 豊かな人間性を育む体験活動をより一層推進するため、少年自然の家のプログラムを持続可能な体制で運営できるようにする。                          |

○当課の取組

| 事業名                  | 内容                                                                                                                             |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青少年の非行・被害防止標語コンクール   | 国が行う「青少年の非行・被害防止全国強調月間」（7月）に合わせ、青少年が非行・被害防止について考えるとともに、県民の青少年の健全育成等に対する理解が深まる機会となるように、県内中学生を対象とした標語コンクールを実施する。                 |
| わたしの主張（少年の主張秋田県大会）   | 次代を担う子どもたちが社会的に自立し、健やかに成長できるよう、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力を身につけるために、県内の中学生を対象に弁論大会を開催する。                                 |
| 青少年健全育成秋田県大会         | 国が行う「子供・若者育成支援強調月間」（11月）に合わせ、青少年の健全育成運動の推進を図るため、県民が青少年の問題等に関心をもち、共に考え、行動する契機となるよう県内全域から青少年育成関係者等を参集し、講話や子ども伝承芸能発表などを行う大会を開催する。 |
| 春のあんしんネット<br>新学期一斉行動 | 総務省や県内関係団体と連携し、フィルタリングの広報やインターネットの安全・安心な利用を啓発するために、「春のあんしんネット 新学期一斉行動（総務省主唱）」キャンペーンを実施する。                                      |
| 春・夏・冬の青少年健全育成運動      | 家庭、学校、地域及び行政が「つながり」をもち、将来の秋田を担う「貴重な財産」である青少年を心身ともに健やかに育成するため、あいさつや声かけを行うなどの青少年健全育成運動を展開する。                                     |
| 安全安心ネット<br>連絡会議      | 子どもや保護者、県民等への効果的な取組を推進するために、インターネットに関する取組や課題について共通認識をもち、連携を図り、県警察本部、県教育庁生涯学習課、当課の関係機関による会議を開催する。                               |